

## 東邦看護学会誌投稿規定

### 1. 投稿者の資格

投稿者は、著者および共著者も原則として本学会会員であること。但し、編集委員会から依頼された原稿についてはこの限りではない。

### 2. 原稿の種類

- 1) 原稿は、看護および看護教育の向上・発展に寄与するものであり、他誌（国の内外を問わず）にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る。また、本誌投稿中に他誌への投稿をしてはならない。
- 2) 原稿の種類は、総説、原著、研究報告、実践報告、資料、その他であり、希望する原稿の種類を明記する。

原稿の種類の内容は、下記のとおりである。

【総説】特定のテーマについて文献考察を行い、当該テーマについて総合的に現状と展望を明らかにしたもの。

【原著】独創的で新しい知見や理解が論理的に示されているもの。

【研究報告】内容的に原著には及ばないが、研究結果の意義が大きいもの。

【実践報告】看護実践などの発表を行うことにより、看護の向上や発展がみこめるもの。

【資料】看護学に関連する有用な調査データや文献など、会員の参考になるもの。

【その他】上記以外に、編集委員会が適当と認めたもの。

### 3. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理的に配慮され、その旨が本文中に明記されていること。

日本看護協会の「看護研究における研究倫理チェックリスト」を参照して確認する。

### 4. 投稿手続き

- 1) 投稿原稿（本文および図表など）を3部、投稿用表紙を3部、投稿原稿チェックリストを1部、編集委員会宛てに送付する。本文には著者名、所属機関は記載しない。
- 2) 投稿用表紙には、①希望する原稿の種類、②表題（和文と英文表記）、③日本語のキーワード3～5語（原著の場合は英語のキーワードも必要）、④共著者を含む著者名（日本語とローマ字表記）、⑤所属機関

（日本語と英語表記）、⑥連絡者氏名、⑦連絡先（住所、電話番号、メールアドレス等）を記入する。

- 3) 最終原稿提出時には、本文（図表などを含む）と投稿用表紙をWordなどのファイルで保存したUSBメモリと、印刷した原稿を1部郵送する。
- 4) 投稿原稿は封筒の表に「東邦看護学会誌原稿」と朱筆し、下記に郵送する。

〒143-0015

東京都大田区大森西4-16-20

東邦大学看護学部

東邦看護学会誌編集委員会

編集委員長 宛

### 5. 原稿の受付及び採否

- 1) 原稿の受付締め切りは7月15日（必着）とし、原稿の到着日を受付日とする。
- 2) 投稿原稿の採否は、査読を経て編集委員会が決定する。
- 3) 採否は本人に通知し、原稿は返却しない。
- 4) 編集委員会は、投稿原稿について修正を求めることがある。その場合には定められた期日までに再提出すること。
- 5) 編集委員会の判定により、原稿の種類の変更を著者に求めることがある。

### 6. 原稿執筆要領

- 1) 原稿はA4版横書きとし、1頁は40字×30行とする。原著は13枚以内（約15000字）、研究報告・実践報告・資料は10枚以内（約12000字）とする。
- 2) 図表および写真は、1点につき原稿600字分と換算する。1点の大きさはA4版2分の1程度とし、1点ずつ1枚の用紙に記す。
- 3) 図表および写真は、図1、表1、写真1などと番号をつけ、本文とは別にし、本文の後ろにつける。写真は白黒を原則とする。
- 4) 本文の見出し順位は、以下の通りとする。  
I. II. III.  
1. 2. 3.  
1) 2) 3)  
(1) (2) (3)
- 5) 原著、研究報告、実践報告を希望する場合には、和文抄録400字程度をつける。また、原著希望の

場合には和文抄録の他に英文抄録250words程度をつける。

- 6) 学会、研究会等で発表したものは末尾にその旨を明記する。
- 7) 文献から引用した場合は、引用箇所に1), 2),…と肩番号を付す。番号は日本語・英語文献問わず、引用順とする。
- 8) 引用文献は、原稿末尾に一括して使用した順に記す。著者が4名以上の場合は、3名までを記載し、それ以降の著者は、“他”(et al.)と省略する。記載方法は次の形式による。

① 雑誌の場合 著者名：表題名、雑誌名(英語雑誌はイタリック)、巻(号)：最初の頁-最後の頁、西暦年次。

例) 齋藤益子, 山崎圭子, 遠山珠未他：助産師からみた妊婦健康診査体制の現状と問題点-妊婦のセルフケア能力を育む母子健康手帳補足版の検討。日本母子看護学会誌, 4 (2) : 43-49, 2010.

例) Morrison-Beedy, D., Aronowitz, T., Dyne, J., et al. : Mentoring students and junior faculty in faculty research-A win-win scenario. *Journal of Professional Nursing*, 17, 291-296, 2001.

② 単行本の場合 編著者名:書名(版). 引用頁(-頁), 出版社名, 発行地, 西暦年次。

例) 高木廣文：質的研究を科学する. 120, 医学書院, 東京, 2011.

例) Benner, P., : From Novice to Expert. 212, Prentice Hall, New Jersey, 2001.

③ 翻訳書の場合 原著者名：訳者名：書名(版). 引用頁(-頁), 出版社名, 発行地, 訳書出版西暦年次。

例) Glaser, B.G., Strauss, A.L. : 木下康仁：「死のケアネス理論」と看護(1版). 65-80, 医学書院, 東京, 1988.

④ ホームページの場合 著者名：タイトル(URLアドレス, 閲覧年月日)

例) 厚生労働省：平成18年病院報告の概況 (<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/byouinhokoku/18/index.html>, 2010. 12. 20)

## 7. 著者校正

著者校正は1回とし、校正時の大幅な加筆、修正は原則として認めない。

## 8. 著者が負担すべき費用

- 1) 規定枚数を超過した分については所要経費を実費負担とする。
- 2) 別刷は50部まで無料とし、それを超える分は実費負担とする。
- 3) 図表等、印刷上特別な費用を必要とした場合は実費負担とする。

## 9. 著作権

投稿論文のすべての著作権は本学会に帰属する。掲載後は本学会の承認なしに他誌に掲載することを禁ずる。

著作権譲渡同意書に、著者(共著者を含む)全員が自筆で署名し、最終原稿提出時に原稿とともに送付する。

## 附 則

この規定は、2011年2月2日から施行する。

この規定は、2012年2月27日から施行する。